

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり9.17人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。医療機関・高齢者施設に行く時や、混雑した電車・バスに乗車する時のマスク着用、手洗い、換気など基本的な感染対策に取り組みましょう。

2 インフルエンザ

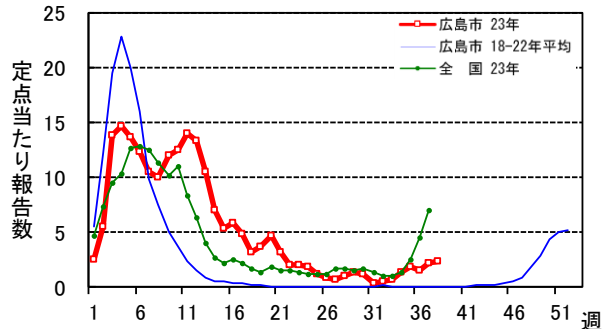
定点当たり2.42人の報告があり、増加傾向です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告が2件ありました。全国では、前週の時点で7都県が注意報レベル(定点当たり10.0人)を上回るなど、例年よりかなり早い流行となっています。手洗い、咳エチケット、換気などの感染対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第38週 A型:52人、B型:0人

3 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は14件となりました。例年、初夏から秋にかけて感染者が多くなる傾向があります。肉類は十分に加熱し、生で食べる野菜や調理器具はよく洗いましょう。また、調理や食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減			
												前週と比較しておおむね	1:2以上の増減		
インフル	インフルエンザ	87	2.42	0.09	↗	小児科	ヘルパンギーナ	25	1.04	0.56	↔	急増減	↑	前週と比較しておおむね	1:2以上の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	330	9.17		↗		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.05		増減	↘	前週と比較しておおむね	1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	6	0.25	1.19		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね	1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.14			流行性角結膜炎	10	1.25	0.60		横ばい	↔	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	0.73	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。			
	感染性胃腸炎	49	2.04	2.47	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-		インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)			36
	水痘	1	0.04	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09		小児科定点数			24
	手足口病	60	2.50	1.22	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数			8
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数			7
	突発性発しん	9	0.38	0.36								(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)			

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	97	60歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	14	10歳未満・O26
4	レジオネラ症	1	28	70歳代
5	梅毒	2	211	10歳未満、20歳代

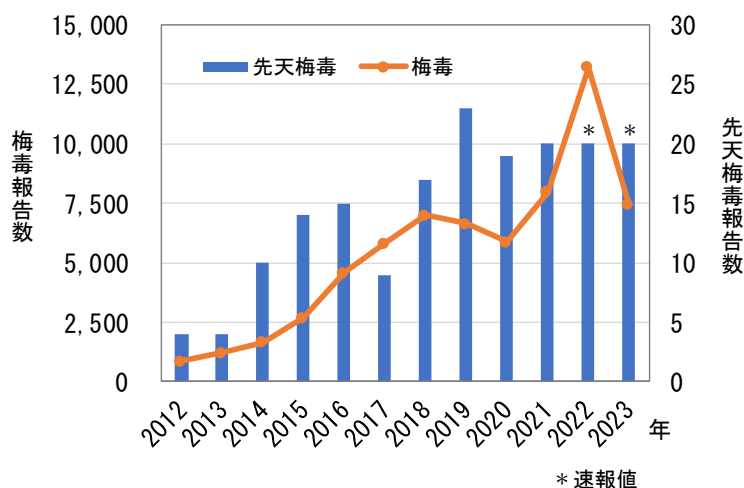
■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎	
			第34週	49	433	14	8	35	61	7	57	-	7	20	1	-	3	-	-	-	-	-
第35週	66	414	13	11	51	62	3	103	-	7	31	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
第36週	56	536	9	6	64	68	7	97	-	4	24	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
第37週	79	434	8	7	53	56	1	73	-	6	27	1	-	5	-	-	-	-	1	-	-	
第38週	87	330	6	12	48	49	1	60	-	9	25	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第34週	1.36	12.03	0.58	0.33	1.46	2.54	0.29	2.38	-	0.29	0.83	0.04	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第35週	1.83	11.50	0.54	0.46	2.13	2.58	0.13	4.29	-	0.29	1.29	0.08	-	0.13	-	-	-	-	-	-
		第36週	1.56	14.89	0.38	0.25	2.67	2.83	0.29	4.04	-	0.17	1.00	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-
		第37週	2.19	12.06	0.33	0.29	2.21	2.33	0.04	3.04	-	0.25	1.13	0.04	-	0.63	-	-	-	0.14	-	-
全国	第36週	4.48	20.20	0.52	1.26	1.54	3.23	0.09	1.38	0.03	0.27	0.92	0.05	0.02	0.65	0.03	0.03	0.02	-	-	-	
	第37週	7.03	17.54	0.40	1.45	1.77	3.20	0.09	1.49	0.02	0.27	0.78	0.05	0.01	0.79	0.01	0.03	0.03	-	-		

【参考】先天梅毒の年間報告数の推移について(全国)

妊娠している人が梅毒に感染すると、菌は胎盤をとおして胎児に感染し、死産や早産になったり、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたす先天梅毒になることがあります。先天梅毒の報告数は、10年前と比べて増加しており、近年は年間20件前後で推移していました。今年も、第26週(第2四半期)時点ですでに20件報告されており、多い状況です。また、広島市でも昨年から今年にかけて3件報告されています。

先天梅毒の年間報告数の推移(全国)
(2023年第26週時点)



先天梅毒の予防には、妊娠中の感染予防が大切です。また、感染した妊婦への適切な治療により、母子感染のリスクを下げるができます。定期的な妊婦健診や、妊娠中に少しでも心当たりや疑わしい症状があった場合は主治医に相談するなど、早期発見・早期治療に努めましょう。

【参考】梅毒に関するQ&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html



【参考】梅毒とは(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohashi/465-syphilis-info-141107.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp